

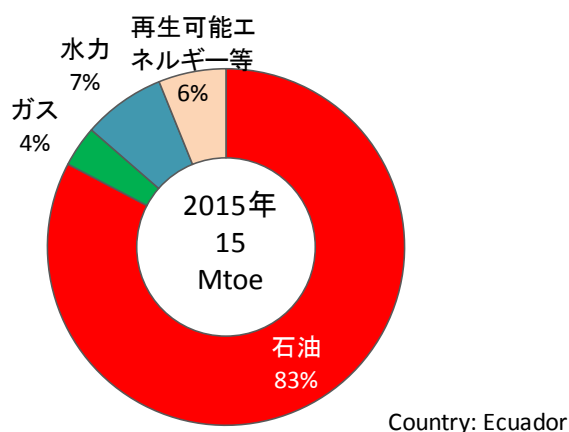
3-11 エクアドル

1. サマリー

1. エネルギー事情

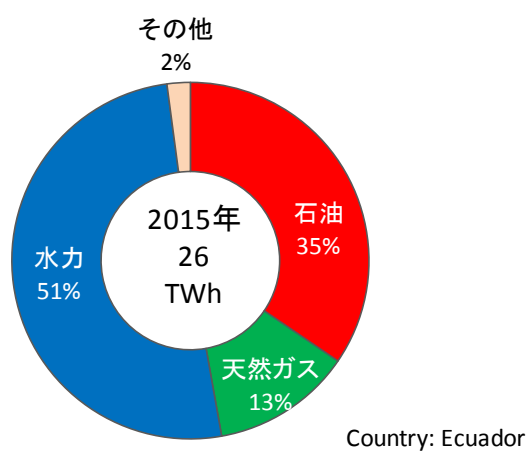
- (1) 一次エネルギー供給量 (2015年) : 15Mtoe (日本の0.04倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2015年) : 0.93toe/人 (日本の0.28倍)
- (3) エネルギー自給率 (2015年) : 201%
- (4) エネルギー起源CO₂排出量 (2015年) : 37.6百万CO₂換算 ton (日本の3.3%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源CO₂排出量 (2015年) : 2.30CO₂換算 ton/人 (日本の25.6%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2016年末) : 原油40.1年、天然ガス32.1年

一次エネルギー供給構成 (2015年)



(出所) World Energy Balances 2017, IEA

発電電力量構成 (2015年)



(出所) World Energy Balances 2017, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- エクアドルの主要エネルギー担当機関は、炭化水素省 (Ministerio de Hidrocarburos) と電力再生資源省 (Ministerio de Electricidad y Energía Renovable) である。2015年2月、従来の非再生天然資源省が管轄していた鉱業部門を分離し新たに鉱業省 (Ministerio de Minería) が新設された。これにより従来の非再生天然資源省は名称を変更し、石油・ガスのみを管轄する炭化水素省となった。2017年11月末現在の炭化水素大臣は Carlos Perez Garcia 氏、鉱業大臣は Javier Cordova Unda 氏、また、電力・再生資源大臣は Jose Medardo Cadena Mosquera 氏である。

(2) 基本政策

- 2017年5月に誕生した Moreno 新政権も、Correa (前) 政権の政策を引き継ぎ、原油輸出国から再生可能エネルギー輸出国へと経済モデルの転換を指向している。また、資源ナショナリズム政策を採り、資源開発を積極的に推進することで石油等からより多くの収入を得て、貧困層の救済を図ることも踏襲するものと考えられている。
- 2017年6月、Moreno 大統領は7つのセクター別閣僚会議の1つとして、インフラ・非再生可能天然資源セクター閣僚会議を設置し、それぞれのセクターの横断的な政策形成及び承認、アジェンダの横断的調整、横断的公共投資の立案をするものとした。

(3) 最近の動向

- 2016年11月、エクアドル最大の「Coca Codo Sinclair 水力発電所 (発電容量 1.5GW、総工費約 22.5 億ドル、内 85%を中国輸出入銀行が融資)」が本格稼働を開始した。建設はJV相手の中国 Sino Hydro によって行われた。エクアドルにとって発電能力の追加は、自国の需要を満たすだけでなく、エクアドルを電力の輸出国へと導くことにも繋がる。
- 2017年5月、Lenin Moreno 氏が第44代エクアドル大統領に就任した。Moreno 新大統領は、Correa (前) 政権時代に副大統領などを務め、前政権の継承を掲げて当選した。なお、Correa (前) 大統領は、終身名誉党首 (Presidente Honorario Vitalicio) に任命された。

3. 日本とエネルギー分野における関係

- 2014年11月、エクアドルの Rivadeneira (元) 貿易大臣が来日し、日本との貿易・投資関係の拡大に向けたエクアドル政府の意向を中山外務副大臣に伝えた。日本側からは、同国に対して日本企業の投資誘致促進のためビジネス環境の改善に向けた尽力を求めた。
- 2016年のエクアドルからの原油輸入量は 94.7 万 kl で、輸入額は約 283 億円で総輸入量の約 0.5%であった。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Ecuador

(2015年)

(1) 一次エネルギー供給量		15 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		0.93 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.17 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		201 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量		37.6 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量		2.30 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	0 %
	石油	83 %
	天然ガス	4 %
	原子力	0 %
	水力	7 %
	再生可能エネルギー等	6 %
(8) エネルギーの輸入依存度		-101 %
(9) 石油の輸入依存度		-123 %
(10) 輸入原油の中東依存度		- %
(11) 原油の輸出先(2016年)	第1位	米国 (63%)
	第2位	チリ (15%)
	第3位	ペルー (12%)

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2017, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2017, IEA

(11) : EIA, Contry Analysis Brief:Ecuador